

α（アルファ）とβ（ベータ）について④「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」におけるαについて



- 「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」は投資家の様々な投資ニーズを満たすことを目的に運用を行っており、運用の第一の目的はαの獲得ではない
- 「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」の中長期的なパフォーマンスが、特定の指数を必ず下回るとは限らない
- その理由は、「指数を上回る投資成果を目指すアクティブ運用」も「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」も中長期的には投資家の資産価値の増大を目指していることに違いはなく、その方法論が異なるだけだからである

「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」におけるα

前回ご説明した通りアクティブ運用には、「指数を上回る投資成果を目指す運用」と「指数を上回る投資成果を目指さない運用」が存在します。今回は「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」におけるαについてご説明します。

「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」は、様々な投資家の投資ニーズを満たすことを目的として運用しています。例えば、先進国国債の利回りが歴史的な低水準にある中、なるべく値動きが抑えられていて高い配当金が継続的に支払われることが期待できる株式に投資したいという投資家のニーズは高まっています。また事業の持続可能性が高く超長期的な成長が期待できる企業に投資を行いたいという投資家も増えており、ESG（※）に配慮した企業への投資のニーズも高まっています。時価総額加重平均で算出された株式指数や債券指数に縛られた投資を行いたくないという投資家や、ボラティリティを抑えながら運用したいという投資家もいらっしゃるでしょう。このように、「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」の第一の運用目的は投資家の様々なニーズを満たす運用を行うことであり、様々な計測期間中のαの獲得を目指しているのではないと言えます。

※ESG：Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字

「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」のパフォーマンスが必ず指数を劣後するとは限らない

では「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」のパフォーマンスは、必ず特定の指数のパフォーマンスに劣後してしまうのでしょうか。その答えは、「必ずしも指数に劣後するとは言えない」です。なぜなら、「指数を上回る投資成果を目指すアクティブ運用」も「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」も中長期的に投資家の資産の増大を目指していることに違いはなく、その方法論が異なるというだけだからです。例えば、指数にとらわれることなく自由な発想で銘柄の選択ができるようになることで、中長期的に指数を上回る成果をあげることも十分期待できます。

アクティブ運用と聞くと運用の目的がαの獲得のみと考えてしまいがちですが、投資家の運用に対するニーズが高度化・複雑化する中、投資家の様々な運用のニーズに応えることを第一目的とした「指数を上回る投資成果を目指さないアクティブ運用」、「ベンチマークに縛られない運用」、「短期的な指数との勝ち負けにこだわらない運用」などに注目が集まっていることに留意が必要でしょう。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- ファンドは預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

「投信新世代」のための基礎知識



「iInfo」はピクテのインターネット専用「iTrust」シリーズの 受益者のみなさまにご提供する**会員限定サービス**です。

ピクテのiInfoには投資家のみなさまの、
「プロ並みのファンドや市場環境の情報がほしい」
「投資に役立つ知識を自分のペースで学びたい」
 …というご要望を満たす様々な情報をご用意しております。

具体的には、iTrustシリーズのバリュエーションレポートやピクテの短期・長期の投資環境見通しを紹介した戦略レポート「Barometer」
 「Secular Outlook」、投資の基本をやさしく学べる「BASE VIDEO & TEXT」、コラム「投信新世代のための基礎知識」など、様々なコンテンツが用意されています。

iInfo詳細はこちら

<https://www.pictet.co.jp/itrust/iinfo>

(「iInfo」で検索してください)



iInfo by Pictet Facebookページのご紹介

iInfoのFacebookページができました！
 ここでは、私たちが日々取り組んでいることや、
 みなさまのお役に立てそうなことなど、
 様々な情報をお届けしてまいります。

iInfo by Pictet Facebookページ
<https://m.facebook.com/iinfo.pictet.jp/>

(Facebookで「iInfo」
と検索してください)



当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。